

あとがき

秋の深まりとともに新型コロナウイルス感染症も第8波にはいり、今冬はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されています。「ポストコロナの時代」と社会・経済など耳にしますが、本号第80巻4号の森田公一先生は、巻頭言「ポストコロナの感染症研究」において、今後も新しい感染症のパンデミックに備えを抜きにしてポストコロナを語ることはできないと述べられています。

さて、本号は、東京医科大学の歴史を学び、今後の発展と展望を見据える内容となりました。最終講義の2編では、土田明彦先生の45年間の奇蹟から功績を元に本学の課題と期待が示され、相澤仁志先生は筋萎縮性側索硬化症の病態と治療・診療の課題、患者さんのQOLへの貢献に言及され

ています。第189回東京医科大学医学会総会での特別講演2編および総会記事としてポスター発表39題の抄録を掲載しています。ポスター発表が減少傾向にありますので、発表のご参考になれば幸いです。

また、前回からスタートしましたIntroducing My Articleでの論文のご紹介、Pivotal Meeting Reportでは2学会が紹介されており、新企画も順調な滑り出しをしています。医学分野のみならず看護学分野での研究や昨今の話題などご提供いただけますとチーム医療、臨床倫理の課題解決の一助となることが期待できます。

(鈴木祐子 記)

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。
また本書の無断複写（コピー）は著作権法上の例外を除き禁じられている。

令和4年10月30日 発行

東京医科大学雑誌 第80巻 第4号

発行者 林 由起子

発行所 東京医科大学医学会
(東京医科大学内)

〒160-8402

東京都新宿区新宿 6-1-1

TEL 03 (3351) 6141 (代)

FAX 03 (3351) 8181

e-mail address

igakukai@tokyo-med.ac.jp

データ製作 笹氣出版印刷株式会社

〒984-0011

仙台市若林区六丁の目西町 8-45

TEL 022 (288) 5555